

リオ州の治安情報15号  
公共交通機関の利用に関する注意喚起

1. 長距離バスにおける強盗事件

4月3日午前0時頃、ブラジリア発リオ行の長距離バスがミナス州とリオ州の境界付近の山間部を走行中、6、7人の武装した強盗団に襲撃され、日本人乗客2名のうち1名が現金や旅券在中のバッグを強奪されました。

長距離バスターミナル周辺は概して治安が悪だけでなく、事件の発生が多い経路を走行する便もありますので、利用に当たっては予め十分な情報収集をしておくこと、周囲の状況への注意を欠かさないことが重要です。

2. 乗り合いバンにおける強盗強姦事件

3月30日(土)午前0時頃に Av.N.S.Copacabana で乗り合いマイクロバスに乗車した外国人学生カップルが、マイクロバスの運転手を含む賊3名に襲われ、女学生は強姦され男子学生は鉄製の工具で暴行を加えられました。被害者は6時間にわたって連れ回され、すべての口座残高がなくなるまでカードキャッシングをさせられた後、イタボライで解放されました。

犯人3名は既に逮捕されましたが、同グループは同様の犯行を繰り返していたと見られ、複数の余罪が浮上しています。

乗り合いバンはどのような人物が運営しているかわかりません。深夜の使用は論外ですが、日中でも安易に使用しないでください。

3. Av. Brasil におけるバス転落事故

4月2日16時30分頃、イリヤ・ド・ゴヴェルナドールから Av. Brasil を結ぶ Viaduto Brigadeiro Trompovski が、Av.Brasil に流入する直前の地点で、路線バスが同大通り上を通過する際にガードレールを突き破って転落、死者7名・負傷者10名の惨事となりました。

バス乗客の証言によれば、バスは事故前からかなりのスピードで走行しており、下車しようとしていたバス停でバスが停車しなかったことに不満を持った乗客が運転手と激しく口論した末に、運転手に暴行を加えたために事故が起きた模様です。

当地のバスの運転手は概してマナーが悪く、事故や違反が多い上、乗客にも薬物中毒者や強盗犯人が紛れていることがありますので、南部地区のみを走行する系統以外の路線バスは使用しないでください。また、車内で様子がおかしい乗客に気づいた場合は、目的地の手前でも速やかに下車してください。